

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	医療安全管理学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎 702教室
担 当 教 員	澤 悟史、専任教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
医療安全に関するヒューマンエラー、チーム医療、医療安全の質の向上など基本的な考え方を学び、医療事故発生後の対応やエラーの分析法、安全教育についての考え方や手法について学ぶ。また、平成27年4月1日より診療放射線技師法が改正・施行され、医療現場において抜針等の業務が診療放射線技師の業務範囲に含まれることになった。本科目では、拡大された範囲の内容について演習も含めて学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
受講態度、課題レポートを総合的に評価する。評価の基準は、この授業で達成すべき目標をどの程度理解したかによる。						
①筆記試験＋レポート 70%						
②出席評価点 20%						
③平常点(授業へ取組む姿勢) 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
使用教材:配布資料						
参考文献:WHO患者安全カリキュラムガイドライン多職種版,						
《授業外における学習方法》						
ヒューマンエラーは生活する中でも数多く存在します。日ごろから自身の行動を見つめなおすことで、なぜエラーが発生するのかを考えてみてください。						
《履修に当たっての留意点》						
医療人になるために、医療現場ではどのような事故が発生しているのかを知る必要があります。自身でもできるだけ興味をもって調べてください。グループで実習を行うが、誰かに任せず全員が主体的に取り組むこと。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療安全に関する歴史的背景を知り、現在の医療安全政策を理解する		授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	医療事故の歴史(1)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療安全に関する歴史的背景を知り、現在の医療安全政策を理解する		授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	医療事故の歴史(2)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでに起きた医療事故を医療事故調査報告書から学び理解する		授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	医療事故調査報告書			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでに起きた医療事故を医療事故調査報告書から学び理解する		授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	医療事故調査報告書			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでに起きた医療事故から安全に対する検討を行える		授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	事例検討			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでに起きた医療事故から安全に対する検討を行える	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	事例検討		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	RCA分析法を理解し、医療事故の根本原因を見つけ出し対策を立案する	授業中にプリントを配布する	授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	RCA分析法		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	近年に改正された診療放射線技師法について理解する。	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	ガイダンス、診療放射線技師法の改正内容		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	一次救命処置(BLS)に関する必要な知識を理解する。	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	一次救命処置(BLS)に関する座学		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	一次救命処置(BLS)を適切に実践できる。	配布資料	前講義内容(第2回)の復習
		各コマにおける授業予定	一次救命処置(BLS) ＜シミュレーションによる実技演習＞		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	一次救命処置(BLS)を適切に実践できる。	配布資料	前講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	一次救命処置(BLS) ＜シミュレーションによる実技演習＞		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	造影剤について理解し、薬理作用やアナフィラキシーショックについて医療現場での対応も含めて学習する。	配布資料	薬理学の復習
		各コマにおける授業予定	造影剤の種類、検査用途、アナフィラキシーショック		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	造影剤について理解し、薬理作用やアナフィラキシーショックについて医療現場での対応も含めて学習する。	配布資料	薬理学の復習
		各コマにおける授業予定	造影剤の種類、検査用途、アナフィラキシーショック		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者移乗(車椅子、寝台等)に関する知識と医療安全について理解する。また、介助者と患者役にわかれて患者移乗の演習を行う。	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	患者移乗演習、医療安全管理学演習 ＜実技演習＞		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	インシデント、アクシデント等の医療安全に関して、例題シチュエーションより危険因子や改善策などをグループ内で討論し、発表する。	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	患者移乗演習、医療安全管理学演習 ＜グループディスカッション＞		